

まちの話題



想いを継ぐ 石炭記念館開館50周年

7月18日、直方市石炭記念館が開館50周年を迎え、記念式典が開催されました。同館は明治以降の日本の近代化と戦後の復興を支えた先人の熱い想いが集まり昭和46年7月20日に開館しました。

同本館は明治43年に筑豊石炭鉱業組合直方会議所として建てられたもので、敷地内には日本初の救護練習所模擬坑道が造られ、実戦さながらの救護練習を通して、数多くの救護隊員を養成しました。平成30年に本館と救護練習所模擬坑道は「筑豊炭田遺跡群」として、三井田川鉱業所伊田坑跡（田川市）、目尾炭坑跡（飯塚市）とともに国指定史跡となっています。

市長は、「石炭産業の発展なくして、直方の歴史は語れない。歴史を学ぶこととあわせて、先人が活力ある直方を築いたように、私たちも次代を切り開いていきたい」とあいさつをしました。

石炭記念館の八尋館長は「この日を迎えられて非常に嬉しい。100年前からの先人たちの想いが詰まっている歴史を、途絶えさせるわけにはいかない。想い、歴史をつないでいきたい」と語りました。

50周年を迎える今年、「継」（つなぐ）をテーマに、同館をはじめ、ユメニティのおがた、直方市立図書館、直方歳時館、直方谷尾美術館の5つの施設が石炭に関連する様々なイベントを開催しています。

園児たちがリサイクルを学習

7月21日、感田保育園の園児たちが環境学習「リサイクルしようよ！」を体験しました。これは市の環境学習の一環で、環境業務課と環境整備課が行う出前授業です。

子どもたちはスライドショーで、身近なペットボトルやカン、ビンなどのリサイクルについて、市職員のクイズを交えて学習しました。

しっかりと家庭でも分別・リサイクルされているようで、実際に分別して回収ボックスに入れる体験では、職員に確認しながら正しく分別できていました。特別ゲストの県マスコットキャラクター「エコトン」とも触れ合い、楽しく環境学習を行うことができました。





汚泥再生処理センター 「クリーン^{ヒッツ}Hitzのおがた」稼働

7月27日、直方市汚泥再生処理センターの落成式が行われました。本市の旧し尿処理場は昭和40年から55年以上にわたり稼働を続けたため、老朽化が進み様々な課題を抱えていました。新施設は、処理能力113キロリットル/日、高負荷脱窒素処理方式および高度処理方式を採用し、水質、臭気などの公害防止や周辺環境の保全に万全を期した施設です。また、処理の過程で発生する脱水汚泥は助燃剤として生まれ変わっています。外観は、直方の街並みの特徴であった明治大正期の町屋造りを現代風にアレンジした、遠賀川や福智山麓などの景観と調和したものとなっています。落成にあたり、市長は「市民生活に欠かせない、し尿や浄化槽汚泥の処理の役割をしっかりと果たしてまいります」とあいさつをしました。



また、市では今回初めてネーミングライツパートナーを募集し、施工を手掛けた日立造船株式会社が「クリーンHitzのおがた」と命名しました。子どもたちの新たな環境学習の場となり、直方の美しい自然環境を未来に引き継いでいく役割を担う施設となることが期待されています。

また、市では今回初めてネーミングライツパートナーを募集し、施工を手掛けた日立造船株式会社が「クリーンHitzのおがた」と命名しました。子どもたちの新たな環境学習の場となり、直方の美しい自然環境を未来に引き継いでいく役割を担う施設となることが期待されています。

中心市街地へのIT事業者誘致で4社が新たに仲間入り

7月29日、新たに市内にオフィスを開設するIT事業者らの記者発表会が仮想未来区役所 直方出張所 囲炉裏で開催されました。今回新たに市の中心市街地に進出するのは、オットシステム株式会社（東京都板橋区）、クロール株式会社（東京都武蔵野市）、株式会社ネビジョン（広島県広島市）、コスモアーツ株式会社（直方市）の4社。市では先進的IT技術を活用し、市内産業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するとともに、中心市街地に新たなオフィス機能を持ち込むことで若者の職域を作り、



まちの活性化に取り組んでいます。今年の3月にも3社がオフィスを設けており、市が誘致した企業は7社となります。

市長は「デジタル技術を駆使し、次の時代に向けて飛躍をしなければならない。地域の産業の振興に協力いただき、直方市の活性化がはかれたら」と期待を込めました。事業者らは「市の熱意が強く、心打たれた。得意分野を活かし、他社との出会いを活かしつつ、市の発展に貢献したい」と語りました。

園児たちの打ち水大作戦

8月5日、新生第一保育園の園児たちが地球温暖化防止学習で打ち水を体験しました。地球温暖化防止学習では、紙芝居の「地球がたいへん」を県のマスコットキャラクター「エコトン」と一緒に、生活の中で気をつけたいエコな取り組みについてクイズに答えながら楽しく学びました。園児たちは「水を出しっぱなしにしない」、「使わない電気を消す」、「好き嫌いをせずに残さず食べる」という3つのエコを守って、取り組むことを約束してくれました。

園庭での打ち水体験では、ペットボトルやひしゃくを使って水をまきました。残念ながら気温は下がりましたが、エコトンとも触れ合い、楽しく環境学習をすることができました。

